

令和元年度

岩手県立軽米病院地域懇談会

開催日：令和元年 6 月 13 日（木）

時 間：15 時 30 分～

場 所：岩手県立軽米病院
言語集団療法室

次 第

- 1 開 会
- 2 病院長あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長・副会長選出
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
 - (1) 軽米病院の事業運営について
 - (2) その他
- 7 病院紹介「生活習慣病予防対策チームについて」
- 8 閉会

令和元年度 岩手県立軽米病院地域懇談会委員名簿

(任期 令和2年3月31日まで)

No.	役 職 名	氏 名	備 考
1	軽米町長	山 本 賢 一	
2	岩手県議会議員	工 藤 大 輔	
3	軽米町議会議長	松 浦 満 雄	
4	軽米町健康福祉課総括課長	坂 下 浩 志	
5	九戸村住民生活課長	大 久 保 勝 彦	
6	九戸村民生児童委員協議会会長	若 山 秀 一	欠席
7	軽米町社会福祉協議会会長	田 名 部 晴 夫	
8	軽米町民生児童委員協議会会長	中 里 多 喜 男	
9	新岩手農協地域女性部北部地区軽米支部長	永 井 美 保 子	
10	軽米町PTA連合会会長	玉 館 誠	
11	軽米中学校PTA母親委員	松 田 梨 恵	
12	軽米町保健推進員協議会会長	佐 藤 勝 子	
13	軽米町老人クラブ連合会監事	千 葉 エ イ 子	
14	軽米町商工会女性部長	高 橋 静 子	
15	軽米町消防団団長	小 野 寺 祐 治	
16	行政連絡員(向高家区長)	古 川 敏 夫	
17	行政連絡員(河北区長)	新 井 田 勇 雄	
18	行政連絡員(高清水区長)	古 館 徳 治	
19	行政連絡員(大清水区長)	関 敬 藏	

(順不同、敬称略)

地 域 懇 談 会 席 次 表

議 長

工 藤 大 輔 委 員 (岩手県議会議員)
松 浦 満 雄 委 員 (軽米町議会議長)
大久保 勝 彦 委 員 (九戸村住民生活課長)
中 里 多喜男 委 員 (軽米町民生児童委員協議会会長)
玉 館 誠 委 員 (軽米町PTA連合会長)
佐 藤 勝 子 委 員 (軽米町保健推進員協議会会長)
高 橋 静 子 委 員 (軽米町商工会女性部長)
古 川 敏 夫 委 員 (行政連絡員 向高家区長)
古 館 徳 治 委 員 (行政連絡員 高清水区長)

山 本 賢 一 委 員 (軽米町長)
坂 下 浩 志 委 員 (軽米町健康福祉課総括課長)
田名部 晴 夫 委 員 (軽米町社会福祉協議会会長)
永 井 美保子 委 員 (新岩手農協地域女性部北部地区軽米支部長)
松 田 梨 恵 委 員 (軽米中学校PTA母親委員)
千 葉 エイ子 委 員 (軽米町老人クラブ連合会監事)
小野寺 祐 治 委 員 (軽米町消防団団長)
新井田 勇 雄 委 員 (行政連絡員 河北区長)
関 敬 藏 委 員 (行政連絡員 大清水区長)

入 口

薬 平 船 浩 人	総 伊 藤 ゆ かり	臨 魚 谷 英 之	医 小 笠 原 雄	院 横 島 孝 雄	副 葛 西 敏 史	事 務 局 長 吉 田 朗	主 任 小 倉 和 彦	事 務 局 次 長 鎌 田 正 治
主 君 成 田 大	副 中 里 美 和	看 坂 野 上 裕 子	看 小 松 留 美 子	診 及 川 和 哉	臨 神 田 智 之	主 小 野 寺 美 奈 子	主 佐 々 木 葉 子	

岩手県立軽米病院地域懇談会要綱

(目 的)

第1 県立軽米病院の円滑な運営に関し、広く地域住民の声を聴き病院運営の参考とするため、県立軽米病院地域懇談会（以下「懇談会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 懇談会の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) 病院の円滑な運営に必要な事項
- (2) 保健衛生活動の協力に関する事項
- (3) 病院の長が必要と認める事項

(組 織)

第3 懇談会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、地域、職業、年齢、男女の別等を十分考慮し、町、行政区、社会福祉関係団体、小中学校 P T A 等の代表者及び学識経験者のうちから院長が委嘱する。

(任 期)

第4 委員の任期は、委嘱の日から当該年度の末日までとする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5 懇談会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6 懇談会は、病院長が招集する。

2 会議は、定例会及び臨時会とし、定例会は年 1 回、臨時会は必要に応じて招集する。

(庶 務)

第7 懇談会の庶務は、病院において処理する。

附 則

この要領は、平成 16 年 9 月 1 日から施行する。

平成31年度 軽米病院事業運営方針

【基本理念】

私たちは、地域に根ざした医療の実践と地域の保健・福祉との連携により、住民に信頼され親しまれる病院、地域づくりに貢献する病院を目指します。

【基本方針】

- 1 私たちは、少子高齢化社会に対応しながら、地域の一次・二次医療と県北における慢性期医療の提供に努めます。
- 2 私たちは、全ての患者の権利と尊厳を尊重し、安全で安心な医療に努めます。
- 3 私たちは、圏域の諸機関との連携のもとに、医療・保健・福祉が一体となった活動を展開するとともに、地域住民の健康の維持・増進に努めます。
- 4 私たちは、健全経営と効率的で良質な医療の提供に努めます。

分野	重点事項	展開方法	評価指標	目標値等
I. 良質な医療が提供できる環境の整備				
1 満足度の高い良質な医療の提供				
(1)	診療応援体制の充実及び機能強化	①内科、循環器科、精神科、神経内科及び外科(月2回)の応援診療継続	応援回数	各科必要に応じた応援の継続
		②医師充足率100%の維持	医師充足率	100%以上
(2)	専門外来の充実	①糖尿病外来	実施回数	第1、第3金曜日
		②看護の専門性の発揮	糖尿病患者への指導件数	実態把握
(3)	健康教室の開催	①生活習慣病教室	開催回数	年6回
		②小児健康教室「にこにこ教室」(対象:小学4年生、中学1年生)	開催回数	各校 1回
(4)	診療連携の促進	①地域連携室機能明確化による二戸・久慈医療圏内での連携強化	活動実績	広報の発行等 連携施設訪問等
		②二戸病院(内科、外科)、九戸地域診療センター(小児科)への診療応援	応援頻度	週1回
		③介護施設・福祉施設との連携、「保健医療福祉連絡会議」、「地域ケア会議」	開催回数	月1回開催
(5)	近隣市町村との連携	①行政との連携により地域における医療・保健・福祉の実現(軽米町、九戸村)	開催回数	毎月定例会による連携 看看連携強化
		②健康ふれあいセンターとの連携強化		
(6)	病院機能の明確化	各種会議、地域懇談会等における情報発信	活動実績	随時
(7)	医師及び看護師の勤務環境の改善	医師及び看護師の負担軽減委員会による対応策の検討及び実績評価	実施内容	委員会の活動実績
2 救急医療体制				
(1)	救急患者の積極的受入	①救急患者を断らない方針の徹底	受入実績	100%受入
		②救急車搬送患者の積極的受入	搬送率	搬送率前年度以上
3 医療の質向上				
(1)	看護の質の向上	看護師の役割発揮と評価	退院時アンケート結果	満足・やや満足 85%以上
(2)	患者満足度の向上	①患者満足度調査の実施及び分析(基本的な接し方)	「基本的な接し方」の満足度調査結果	対前年度以下 不満 3.8%以下 満足 73.5%以上
		②当院独自の待ち時間調査を実施し、分析結果を公表	調査結果	待ち時間の短縮
(3)	委員会活動	①計画的な委員会開催と開催状況管理	開催実績	随時
		②30分以内会議の推進(資料の事前配布等)	開催実績	随時
(4)	クリニカルパスの推進	他職種参加のパス委員会によるパスの見直しと症例の拡大	適用率	適用率17%以上
(5)	インフォームドコンセントの徹底	患者満足度調査等で評価	「インフォームド・コンセント」の満足度調査結果	不満 2.6%以下 満足 70.8%以上
(6)	NST活動の実践	活動目標を設定し実践(ラウンドの実施)	ラウンド'実績	週1回
(7)	病院機能評価項目への継続的な取り組み	B評価項目の改善への取組推進	改善項目数	項目33→20
(8)	ホームページの充実	ホームページ管理と適時更新	更新回数	随時
(9)	広報誌の発行	あしなみ(院内報)	発行回数	年3回
		あかしや(院外報)	発行回数	年3回
(10)	心のかよう接遇	①接遇研修の開催	開催回数	年1回
		②「気配り・あいさつ」運動の推進	実施実績	継続
4 各部門目標				

(1) 薬剤業務	①薬剤管理指導(指導料2,3)の推進	年間指導件数	200件
	②退院時薬剤情報管理指導料	年間指導件数	150件
	③入院患者持参薬の確認	確認患者数	入院時全患者対応
	④病棟薬剤業務実施	加算算定開始	元年7月～
(2) 栄養管理室業務	①栄養指導の拡大(継続指導の推進) (局方針 BSC)	年間指導件数	入院100件 外来 600件
	②特別メニュー(1食100円)、行事食(減塩、食財の日等)提供による食事満足度の向上	食事満足度調査結果	満足率70%以上

II 医療安全の徹底

(1) 医療安全対策委員会活動	①委員会毎月開催、研修会2回以上開催	開催回数	委員会毎月 研修会年2回以上
	②医療安全管理チーム会議の定期開催	開催頻度	月1回
	③インシデントレポートの分析及び対策	実施実績	発生の都度
(2) 医療事故防止	①諸行為前後の安全確認の励行(レベル3以上)	発生実績	無事故目標
	②針刺し事故防止の徹底	発生実績	0件
(3) 業務応援の充実と強化	①二戸・一戸・久慈病院からの薬剤師、放射線技師、検査技師、CE、MSW、WOCN、医療安全専門員の業務応援 ②言語聴覚士の業務応援(H27.5～二戸HPより月1回)	応援実績	薬剤 ・出張・年次等 業務応援継続 X線 ・出張・年次等 業務応援継続 ・定期的交流研修の実施(1回/月)・待機応援 実施 検査 ・定期業務応援 の継続 ・出張・年次等 業務応援継続 ・待機応援実施
	①二戸病院への業務応援(検査、看護等)	応援実績	応援回数

III 良質な医療を支える経営基盤の確立

1 収益の確保			
(1) 効率的な病院運営	①経営企画機能の発揮(診療報酬制度に係る研修会開催)	開催回数	年2回以上
	②常に上位の施設基準を見据えた意識と対処	検討状況	各基準適合状況毎月確認と上位取得の検討実施
	③地域包括ケア病床の円滑な運用	収益額	対前年度比プラス
(2) 患者数の確保	①入院患者の確保		
	・一般病床(病床利用率)	1日平均患者数	43人(79.6%)
	・療養病床(病床利用率)	1日平均患者数	34人(75.6%)
(3) 収益の確保	②外来患者の確保	1日平均患者数	113人
	①入院1日平均単価	単価	21,571円
	・一般病床	単価	28,290円
	・療養病床	単価	12,859円
(4) 差額病床利用の促進	②外来1日平均単価	単価	6,840円
	差額病床利用率(徴収率)の向上	利用(徴収)率	50.0%(100%)
(5) 請求漏れ防止対策	①レセプト精度管理の計画的実施	開催回数	合同で月1回
	②医事経営課主催の部門別勉強会の開催	開催回数	年3回以上
(6) 査定減防止対策	①査定率目標値の設定	査定率	0.05%以下
	②委託業者と査定内容検討会の実施	開催回数	毎月ミーティングと兼ねて開催
(7) 適正な未収金管理	①医事経営課と看護部門の連携による未収金発生防止	個人未収金	対前年度比△1.5%
	②過年度未収金高額滞納者との緊密な連絡、相談	残高	
(8) 収支計画と進行管理	①進捗状況の把握	会議資料 提出状況	毎月
	②全職員に情報の提供と共有		毎月
	③確実な加算算定にむけた看護師長会、医事課との意見交換(1回/四半期)	算定実績	算定件数増

2 経費の節減				
(1)	効率的な費用管理 患者数とリンクした超過勤務 務時間数となること。ただし、X線・検査は救急対応が主であり、概には言えない。	①超過勤務手当の縮減 ※正規職員	超勤時間数	30年度実績以下
		・看護 ・医療技術員 ・事務員		日々の業務を見据えた合理的な業務遂行
②ノー残業デー及び定時退庁日の設定	各部門ごとに設定	病院全体で年3回		
(2) 材料費の節減	①薬品の適正管理			
	・採用薬剤品目数の目標設定(一増一減)	品目数	740品目	
	・後発医薬品の導入推進	購入数量割合	90%以上	
	②診療材料費の節減			
	・診療材料検討委員会の定期開催	開催実績	四半期毎	
	・逆ザヤとなっている材料の解消	品目数	0	
	・対医業収益比率目標値の設定(税込)	対医業収益比	4.0%以下	
・原価意識の醸成(材料原価展示会の開催)	開催実績	年1回以上		
IV.医療を軸とした幅広い地域サービスの展開				
(1)	地域病院としてのサービスの展開	①訪問診療の継続	訪問実績	月2回～3回
		②退院後訪問の推進	訪問実績	前年度以上
(2)	地域交流の推進	①夜の健康教室事業への継続協力	開催実績	年2回
		②町の健康推進事業への積極的な参加	開催実績	年17回
		③ふれあい看護体験の開催	開催実績	年2回(5月、8月)
		④地域住民を対象とした介護教室の開催	開催実績	年2回
		⑤看看連携の強化と質向上にむけた地域連携研修会の開催	開催実績	年2回
(3)	地域とのふれあい	地域イベントへの積極的参加	参加実績	参加継続
(4)	地域ボランティアの積極的受入	構内、院内環境ボランティアの受入及び育成	開催実績	年2回
V.環境への配慮				
		①環境管理マネジメントの運用管理	※県のエコマネ目標に準ずる。	
		・A重油	使用量	H30年度以下
		・電気	使用量	同上
		・ガス	使用量	同上
		・水道	使用量	同上
		②一般ゴミ減量化の取り組み(リサイクル除き)	排出量	同上
		③一般廃棄物リサイクル率の推進	リサイクル率	同上
(2)	構内環境整備	構内美化の日を設定(4月～11月)	実施実績	年2回以上
VI.人材育成と意識改革				
(1)	職員の資質の向上	①職場研修の実施	開催実績	計画的実施
		②外部研修生の積極的な受入(医学生、看護学生、管理栄養士等)	受入実績	随時
		③糖尿病療養指導士等専門資格者の活動強化	活動実績	健康教室開催(計10回) 生活指導30件以上 フットケア20件以上
		④糖尿病認定看護師活動・強化	活動実績	地域での啓発活動年3回以上 糖尿病教育入院にむけた研修会年2回以上 フットケア20件以上
		⑤地域につなぐ看護実践にむけた連携施設での体験研修	実施実績	受講者数
		⑥育成面接の活用	実施実績	年3回
(2)	業務改善運動	①認め合い、讃えあう職場風土作り。ちよこつと改善発表会の継続	発表数	9件
(3)	コンプライアンスの推進	コンプライアンス確立の日(運営連絡会議と同)継続実施	実施実績	月1回
(4)	心肺蘇生法(BLS)の習得	BLS受講による指導者育成と院内講習会全職員受講	受講実績	2名、講習会年1回
(5)	職員満足度の向上	職員満足度調査実施	開催実績	年1回